

七つ紋附

まあちやん記

『アラまあ何て好い柄、一寸御母さん御覧なさいな、まあちやんの何かに好いちやありませんか。』

美彌姉さんは何時でも立派な柄さへ見ればかう仰有つて

『ね、買つておやんなさいよ御母さん。こんな好い柄めつたにありやしない事よ、

ね、

買つておやんなさいよ。』

つて、それはく好い姉さん。

而して御母さんが、だつて

も何に好い柄なんだらうね、



いぢやないか、なんて仰有ると、定つて、
『否、何にでもなるわ、お被布にしたつて、着物に

姉さんは、私がべそをかき相にじてるもんだから、

『嫌だわ私、あんな好い柄、ねえ姉さん。』

『そいぢやね、御母さん、私買つてやつて可い事？

此間〇〇雑誌で頂いた彼の賞金でねえ、御母さん、

よくつて？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

『まあ何て好い柄、何處でお買ひ遊ばして？』

きまつて斯様皆様から訊かれますの。

だから私嬉れしくつて嬉れしくつて。

『今年のお節旬には母様が御紋附を染めて下さるんですつて、だから美彌姉さんに御相談して色をきめると好いつて仰有るのよ。』

私何色にしやうかしら、

褪紅色？あんまり赤つぽくて派出過ぎるわ屹度。

紫？黒？もつと何か好い色があるに違ひない、

美彌姉さんは何が好いつて仰有るだらう？

何時だつたか美彌姉さんのお小袖を拜見したら、

私の家の定紋はつただのに、ハートみたいなのをた

つた一つだけお脊中のところへつけてあつたわ、而

して私が、

『アラまあ姉さん、随分だわね、ハートの御紋なん

かつて、何てハイカラでせう。』

つて笑ひますと、

『嫌なまあちやん、ハートと違つてよ、これね、か

げづたつてのよ、矢張りお家の定紋と同じ事なんで

すよ。』

ot

すもの、而して矢張り美彌姉さんのみたいに一つ丈

けにしやうかしら、だけれども同じつけるのなら澤山

の方が好いわ。美彌姉さんのお振袖だつて、まだ外

の御紋附だつて脊中の處に一つ丈けぢやない、お袖

の後だのお胸の所だの、随分きれいだつたわ。

だから私も出来る丈け澤山の御紋にして勅題の雪を

裾模様染めて頂かう。

美彌姉さんは何て仰有るか、姉さんの去年の御紋附

はたしか五つ紋だつたでせう、だから今度は二人で

七つ紋にして、ハートのやうなハイカラな彼のかげ

づたをお揃ひにつけませう。

(完)

